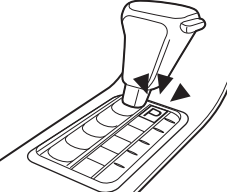
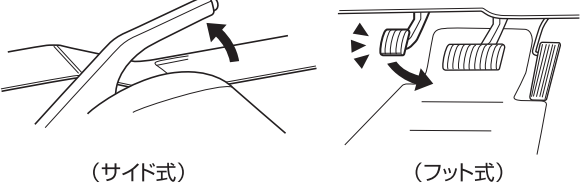
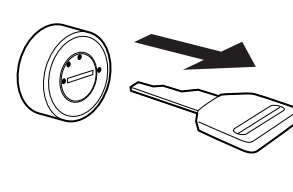
TE-S06/W06シリーズ 取付マニュアル

※本品のP/N検出機能は、バッテリー交換等で本体の電源が断ち切られた場合にもデータを保持します。このためP/N検出データを設定した本品を他の車両に付け替える場合などは、一度メインユニット設定スイッチNo.2を「フットブレーキ検出」に切り替えてP/N検出データを消去した後、再度設定をし直してください。

※TE-S06/W06シリーズ（以下、本品という）の取付けは、必ずこの手順に従って行なってください。
※裏面記載の禁止事項をよくお読みになってから作業を行なってください。
※お手持ちのFAXから車種別ピットマニュアル（取付情報）を取出すことができます。詳しくは店頭の車種別ハーネス適合表または、当社ホームページ（http://www.carmate.co.jp）をご覧ください。（誠に勝手ながら用意が出来ていない車種もございます。また、ピットマニュアルはオプションなど全ての配線を網羅するものではありません。あらかじめご了承ください）
※本品を取付ける際は、車両部品の取外しや加工が必要になります。
※車両配線への接続を行なう際は、不意のショート等を防ぐため、車両バッテリーのマイナス端子を外した状態で行なってください。お守りいただけない場合、以下のような危険が生じる恐れがあります。
▼通電中のコードをワンタッチコネクターでカシメる際、カシメ工具（プライヤーなど）の金属部が車両ボディ（アース）に接触するとショートする恐れがあります。
▼各コネクターを差し込む際にドライバーなどの金属物で押し込んだ場合、コネクターの端子間でショートする恐れがあります。
※余った配線類は、ショート等を防ぐために確実に絶縁処理を行ってください。また、ワンタッチコネクターやハーネスなどの接続部分には必ず絶縁テープを巻いてください。

❶ 取付け位置を仮決めする（この時点では車両への固定は行なわないでください）

車両に合ったおおまかな取付け位置を決めておきます。運転操作や視界の妨げにならないよう注意してください。
設定スイッチが切替しやすい位置に取付けるとメンテナンスがしやすくなります。

アンテナユニット ‥‥ダッシュボード上の樹脂部分にピラー等の金属部分から5cm以上離して取付けてください。
その際、エアバッグ等の操作を妨げないよう注意してください。また、インダッシュ等にも取付可能ですが電波到達距離は短くなります。
※防水構造ではありませんので車外およびエンジンルームへは取付けできません。
メインユニット‥‥‥‥アンダーダッシュ内に固定する位置を決めます。
8音色サイレン ‥‥‥エンジンルーム内に固定する位置を決めます。
※TE-W06Sのみ

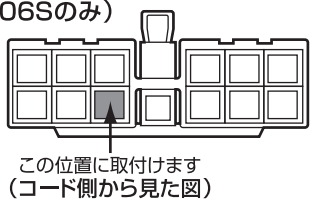
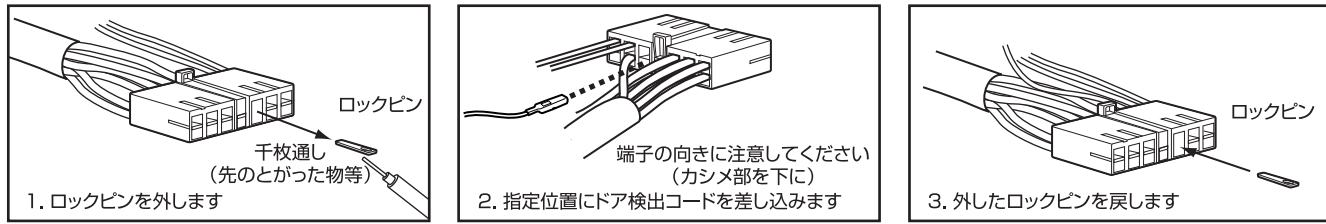
❷ ドア検出コードを車種別専用ハーネス（別売）に取付ける（TE-W06Sのみ）

車種別専用ハーネスの13Pコネクタの指定位置（右図参照）に、付属のドア検出コード（緑色）を差し込みます
※あらかじめこの位置に緑コードがあるハーネスの場合は、その緑コードをそのままドア検出コードとして使用できます。

この位置に取付けます
（コード側から見た図）

1. ロックピンを外します

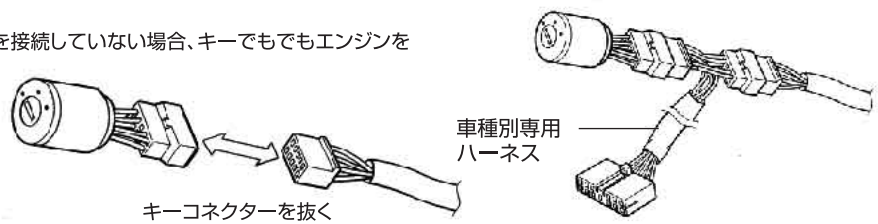
2. 指定位置にドア検出コードを差し込みます

3. 外したロックピンを戻します

❸ 車種別専用ハーネス（別売）を車両に取付ける

車両のキーコネクターを抜き、その間に車種別専用ハーネスを接続します。

⚠注意 車種別専用ハーネスの接続位置は「キーシリンダー裏」もしくは「キーシリンダー裏から出ているコードにつながっているコネクター」（ヒューズボックスなど）です。それ以外の場所に接続すると車両故障の原因となりますのでご注意ください。

⚠注意 コネクターはしっかり奥まで差し込んでください。差し込みが浅い場合、車両故障や動作不良の原因となります。また、接続部は絶縁テープで巻いてください。

参考 車種別専用ハーネスに本体を接続していない場合、キーでもでもエンジンを掛けることができません。

❹ アースコードを車両に取付ける

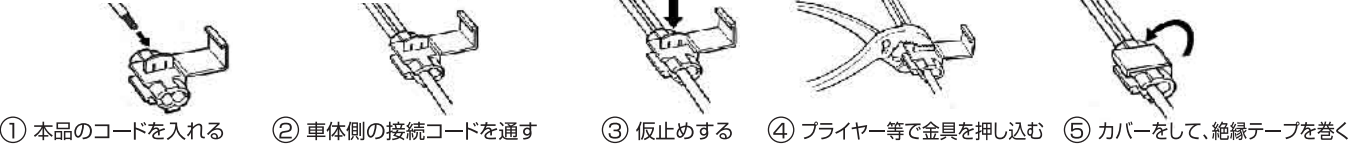
車種別専用ハーネスのアースコードを、車両の金属部分を固定している塗装していないボルトに共締めします。

⚠注意 アースが不完全であることが動作不良につながるケースが多いため、接続場所には充分注意してください。

⚠注意 オーディオ、ナビゲーション等、他の電装品と同じ場所にアースコードを取付けないでください。作動不良や、オーディオのメモリーが消失する場合があります。

❺ サイドブレーキ検出コードを車両に取付ける ※必要な場合のみ

車種別専用ハーネスのサイドブレーキ検出コード（橙の細コード）を、「車両のサイドブレーキ（パーキングブレーキ）を掛けたときに0V」かつ、「解除したときに12V」となるコードにワンタッチコネクターで接続します。（寒冷地などで、駐車時にサイドブレーキを使用しない場合は接続する必要はありません。）
サイドブレーキ検出コードを接続した場合は、メインユニット設定スイッチNo.1「サイドブレーキ検出キャンセル」をOFF（上側）にしてください。
※車種別専用ハーネスにサイドブレーキ検出コードが差さってない場合、ハーネス同梱のサイドブレーキ検出コードをハーネス付属の説明書に従って13Pコネクターの指定位置に差し込んでください。

ワンタッチコネクターの使い方

❻ イモビ付車対応アダプター（別売）をメインユニットに取付ける ※必要な車種のみ

（純正セキュリティ対応アダプター及びレジェンド用DPSアダプターが必要な車種も、この時点で接続を行ないます。）

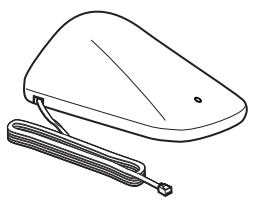
純正イモビライザー装着車の場合のみ、イモビ付車対応アダプター（別売）が必要です。
イモビ付車対応アダプター（別売）の取扱説明書を参照の上取付けてください。

取付けるアダプターによって右表のようにメインユニット設定スイッチを切り替えます。

	メインユニット設定スイッチ
	No.7（OP端子出力）
TE412/416/421/423~426	OFF（A）
TE413/417/422	ON （B）
レジェンド用DPSアダプター	ON （B）

❼ アンテナユニットと車内温度センサーをメインユニットに取付ける（車内温度センサーはTE-W06Sのみ）

裏面の表を参照し、アンテナユニット設定スイッチの設定を行ないます（設定スイッチの切替は、つまようじ等先端の柔らかいもので行なってください。－ドライバーなど先端が金属のものを使用すると破損する原因となります）。その後、アンテナユニットのコードをダッシュボード上からアンダーダッシュ内に引き込み、コネクターをメインユニットに差し込みます。配線を取り回した後、アンテナユニットを両面テープでダッシュボード上に取付けます。（両面テープはアンテナユニット底面の技術適合証明ラベルを避けて貼りつけてください。）
TE-W06Sは車内温度センサーをメインユニットの温度センサー差込口に差し込みます。先端のセンサー部は、熱を発する電子機器やエアコンなどからできるだけ離して取付けてください。また、センサーのコードは車内温度センサー固定金具を使用し、運転操作の妨げにならないように固定してください。

※アンテナユニットは確実に固定してください。特にTE-W06Sはアンテナユニット内部にショックセンサー及び傾斜センサーが入っているため、固定しないとセンサーが正常に働きません。
※アンテナユニットは、アンダーダッシュ内などにも取付可能ですが、電波到達距離は短くなります。

❽ 車種別専用ハーネス（別売）の13Pコネクターをメインユニットに差し込む

車種別専用ハーネスの13Pコネクターをメインユニットにしっかりと差し込みます。

参考 ハーネスの長さが短く、メインユニットを❶で仮決めした位置に収納できない場合は、別売のTE201「延長ハーネス50」を使用してハーネスを50cm伸ばすことができます。

❾ P/N検出が行なえるかどうか確認する

<P/N検出データの設定手順>

※本品のP/N検出機能は、バッテリー交換等で本体の電源が断ち切られた場合にもデータを保持します。このためP/N検出データを設定した本品を他の車両に付け替える場合などは、一度メインユニット設定スイッチNo.2を「フットブレーキ検出」に切り替えてP/N検出データを消去した後、再度設定を行なってください。

記号の見方

▬	長い音（ピー）
●	短い音（ピッ）

セレクトレバーを「P」にしてキーを抜く
↓
リモコンでエンジンスタート操作をする（STARTボタンを押す）
→ エンジンが掛かる場合：P/N設定済みあるいはフット接続済みです。（このままお使いください）
↓
アンテナユニットから「ピー・ピー・ピー・ピー」×2回鳴る
▬ ▬ ▬ ▬ ×2
↓ ※他の音が出る場合は取扱説明書の「エンジンスターター機能が作動しない場合」を参照
20秒以内にキーをON（メーターパネルが点灯する位置）にする
(NG) → アンテナユニットから「ピ・ピ・ピ・ピー」×2回鳴る ● ● ● ▬ ×2 → ハーネス品番およびハーネス取付状態を確認してください。
※20秒以内にキーをONに出来なかった場合は、もう一度最初から設定を行います。
(OK) ↓ ※OK・NG いずれかの音がするまでそのまま待機
アンテナユニットから「ピー」と1回鳴る
▬ ×1
↓
20秒以内にブレーキを踏みながらセレクトレバーを「R」にする
(NG) → アンテナユニットから「ピ・ピ・ピ・ピー」×2回鳴る ● ● ● ▬ ×2
↓
メインユニットのP/N検出モードスイッチを切り替えて（取扱説明書の「P/N検出時のST1/ST2切替」を参照）再度設定を行います。
↓ ※20秒以内にセレクトレバーを「R」に出来なかった場合は、もう一度最初から設定を行います。
P/N検出モードを切り替えても設定できない場合
↓
P/N検出の設定ができない車です。車種別専用ハーネスの「フットブレーキ検出コード」を、「車両のフットブレーキを踏んだときに12V」かつ、「離したときに0V」となるコード（通常はブレーキペダルの根元にあります）に、付属のワンタッチコネクターで接続します。
また、フットブレーキの配線を行なった場合は、メインユニットの設定スイッチNo.2（フット/PN切替）を「フット」（OFF側）に切り替えてください。
(OK) ↓ ※OK・NG いずれかの音がするまでそのまま待機
アンテナユニットから「ピー」と1回鳴る
▬ ×1
↓
設定完了

❿ メインユニットの設定スイッチを設定し、エンジンスターター機能の動作を確認する

裏面の表を参照し、メインユニット設定スイッチを設定し、下記手順に従ってエンジンスターター機能の動作確認を行なってください。

1. 車両のセレクトレバーを「Pレンジ」にして車両のキーを抜き、サイドブレーキをしっかりと掛けます。
2. リモコンでエンジンスタートの操作をします。
3. エンジンが正常に始動するか確認してください。
4. エンジンが始動しない場合は取扱説明書の「エンジンスターター機能が作動しない場合」をご参照の上、設定などを確認してください。

⓫ ドアロック機能の配線を行なう（ドアロック対応機種のみ）

⚠注意 別売のドアロックアダプターが必要な車種は、各アダプターの取扱説明書に従って配線を行なってください。

ドアロック制御方式 ＼ 本体	TE-S06	TE-W06X	TE-W06	TE-W06S
マイナス制御の車	取付できません。	別売のドアロックコード（TE202）が必要です。	別売アダプター等は必要ありません。	
マイナス制御以外の車	取付できません。	店頭の車種別ハーネス適合表を確認の上、指定されたドアロックアダプターでお取付けください。		

⚠注意 車種により、ドアロック機能が使用できない場合があります。店頭の車種別ハーネス適合表または、弊社ホームページで適合を確認した上でお取付けください。適合車種以外の車にドアロック配線を行なうと車両故障や不具合の原因となります。

マイナス制御の車への配線方法

1. ドアロックコードの緑コードを車両のドアロックスイッチを押した時に0V（アースと導通する）、スイッチを離した時に+12Vになるコードに付属のワンタッチコネクターで接続します。
2. ドアロックコードの青コードを車両のドアアンロックスイッチを押した時に0V（アースと導通する）、スイッチを離した時に+12Vになるコードに付属のワンタッチコネクターで接続します。
3. ドアロックコードのコネクターを、メインユニットのドアロックコネクターにしっかりと奥まで差し込みます。

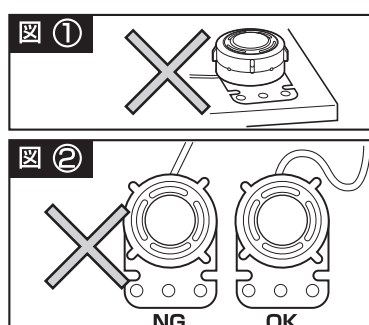
⓬ セキュリティ拡張コードを取付け、強制解除スイッチを貼付ける（TE-W06Sのみ）

セキュリティ拡張コードの8Pコネクターをメインユニットのセキュリティ拡張コネクターに差し込みます。
その後、セキュリティ拡張コードの強制解除スイッチを他人に知られにくい場所に貼付けます。

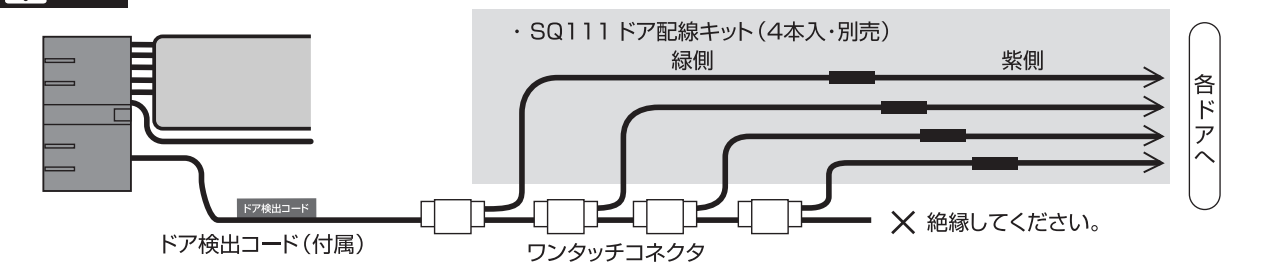
⓭ 8音色サイレンをメインユニットに取付ける（TE-W06Sのみ）

付属の両面テープまたは市販のボルトなどでエンジンルーム内に8音色サイレンを固定し、車内に灰色コードを取り回し、セキュリティ拡張コードの灰色コードに接続します。
続いてサイレンの赤色コードをバッテリーの+端子へ黒色コードをバッテリーの−端子へそれぞれ共締めします。

⚠注意 高温になる場所やオイル・水分がかかる場所および可動部付近への取付けは避けてください。また、サイレン開口部を上に向けて取付けると、洗車時などに水が掛かった際に内部に水分が溜まり、故障の原因となりますので、開口部は垂直より下方に向けて取付けてください（図1）。また、コードを伝わって水分などが浸入することを防ぐため、コードはたるませておいてください（図2）。

参考 8音色サイレンは室内に取付けることもできますが、車外に聞こえる音量は極端に小さくなります。

⓮ ドア検出コードを車両に接続する（TE-W06Sのみ）

❷でハーネスに取付けた「ドア検出コード」を、車両のドアを開けて0V、閉めて+12Vのコードに、付属のワンタッチコネクタで接続します。

⚠注意 1ヶ所の接続では全てのドアの開放が検出できない場合は以下の要領で分岐し、接続してください。

⓯ セキュリティ・ドアロック機能の動作を確認する。（TE-W06S及びドアロック適合車種のみ）

車両のドアを全て閉め、セキュリティ、ドアロックの動作を確認してください。
また、TE-W06Sは取扱説明書P28～P31を参照の上、各センサーの感度調整を行なってください。

完 了

※取扱説明書を参照し、ステッカー類や付属品をセッティングします。

CARMATE

取付概要図

※本面は取付概要図です。実際の取付けにあたっては、必ず裏面の「TE-S06/W06シリーズ取付マニュアル」記載の内容に従って作業していただくようお願い致します。

赤：バッテリーの⊕端子へ
黒：バッテリーの⊖端子へ
灰：データコード

8音色サイレン
（TE-W06Sのみ）

オプション端子（黄）　イモビ付車対応アダプター（別売）の接続コード
※アダプターを接続した場合は、右表参照の上メインユニット設定スイッチを切り替えてください。

強制解除スイッチ
（目立たない場所に取付ける）

オプションフラッシャー
接続コネクター（3P）

メイン電源ヒューズ（5A）

セキュリティ拡張コード
（TE-W06Sのみ）

エンジンスターター
拡張コネクター（6P）

メインユニット
※アンダーダッシュ内に取付
取付け場所が狭い場合は延長ハーネスTE201（別売）でハーネスを延長

ドアロックコネクター
（TE-W06シリーズのみ）

13Pコネクター

※車内温度センサーの差込口は
TE-W06/W06S
のみ装備

メインユニット
設定スイッチ

P/N検出モードスイッチ

アンテナユニット
※ダッシュボード上取付を推奨

アンテナユニット底面

アンテナユニット設定スイッチ

車内温度センサー
（TE-W06Sのみ標準）

ステッカー類を貼る位置

危険シール……
エンジンルーム内の目立つ場所に

モードシール……
運転席ドアを開けた時に見えるドアの付け根付近などに

車両への配線が必要な部分

ドアロックコード
（TE-W06/W06Sのみ標準）
ドアロックアダプター（別売）が必要な車種の場合、アダプターの取扱説明書に従って取付けてください。

緑：ドアロックコード
（ロック時アースを出力）

青：ドアアンロックコード
（アンロック時アースを出力）

車種別専用ハーネス
（別売）

キーシリンダーにつながっている純正コネクターを一旦抜いて本ハーネスを割り込ませる

黒：アースコード

茶（細）：L端子コード
※必要な場合のみ
（エンジンルーム内のオルタネータから出ているコードのうち、バッテリーへ行く太いコード以外で、イグニッションON時に約+2V以下の電圧で、エンジン始動後に+12Vが出るコードへ）

緑（細）：ドア検出コード
※TE-W06Sのみ
（ドア開放時0V・閉めて12Vのコードへ）

紫（細）：フットブレーキ検出コード
※P/N検出の場合は不要
（通常0V・踏んで12Vのコードへ）

橙（細）：サイドブレーキ検出コード
※必要な場合のみ
（掛けて0V・解除して12Vのコードへ）

「サイドブレーキ検出コード」「フットブレーキ検出コード」「L端子コード」の配線を行う場合は、必ずメインユニット設定スイッチを設定してください（右表参照）。

■ のところは、工場出荷時の設定です。

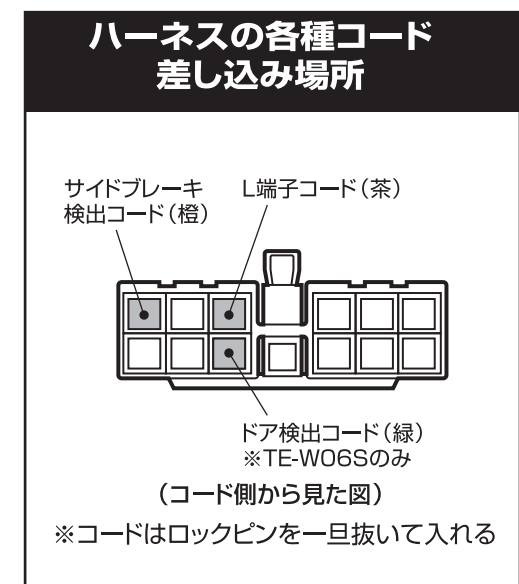
アンテナユニット設定スイッチ

	1	2	3	4
	ID書込	セル回転時間	アイドリング時間	ターボタイマー ※一部機種除く
ON	書込	長め	30分	使用する
OFF	通常	短め	15分	使用しない

メインユニット設定スイッチ

	1	2	3	4	5	6	7	8
	サイドブレーキ検出キャンセル	フット/PN切替	ホンダABS	L端子配線	スターターカット ※一部機種除く	使用しません	OP端子出力	グロータイム
OFF	キャンセルしない	フット	非装着車	なし	使用しない		A	8秒
ON	キャンセルする	P/N	装着車	あり	使用する		B	5秒

ハーネスの各種コード差し込み場所

（コード側から見た図）
※コードはロックピンを一旦抜いて入れる

ドアロック機能の配線に必要なアダプター等

本体 / ドアロック制御方式	TE-W06X	TE-W06	TE-W06S
マイナス制御の車	別売のドアロックコード（TE202）が必要です。	別売アダプター等は必要ありません。	
マイナス制御以外の車	店頭の車種別ハーネス適合表を確認の上、指定されたドアロックアダプターでお取付けください。		

オプション端子（黄）に各種アダプターを接続する場合の設定方法

	メインユニット設定スイッチ No.7（OP端子出力）
TE412/416/421/423〜426	OFF（A）
TE413/417/422	ON（B）
レジェンド用DPSアダプター	ON（B）

★取付に関してのお問い合わせはこちらまでどうぞ…
■サービスセンター
☎(03)5926-1216（代表）
Fax: 03-5926-1218
〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11

禁止事項

▲危険　マニュアル車へ取付けることは、絶対にしないでください。マニュアル車は、冬季にサイドブレーキの凍結を防ぐため、サイドブレーキを掛けずにギアを「ロー」もしくは「バック」に入れ駐車する場合があります。また、坂道などに駐車する際にもギアを「ロー」もしくは「バック」に入れます。その状態で エンジンスターターを使用すると、無人走行の原因となり、思わぬ大事故につながります。

×24V　×外車　×キーフリー スマートキー

●12V車専用です。トラックなどの24V車にはお取付できません。
●外車には取付できません。
●キーフリーシステム・スマートキーシステム装着車には取付できません。（適合車種は除く）

●89年以前の車でシフトロックが装着されていない車（フットブレーキを踏まずにセレクトレバーが「P」から移動できる車）には、取付けできません。

●エンジン始動時に下記のような車には、お取付けできません。

［アクセル操作が必要な車］　［チョークレバーを引く車］　［年間通して、キーを回して2秒程度でエンジンのかからない車］

●ホンダ車の雨滴感応ワイパー装備車には、お取付けできません。
取付けすると車両故障の原因となります。

取付手順

※車両への配線を行なう際は、不意のショートを防ぐためバッテリーの⊖端子を外しておいてください。
※余った配線類はショート等を防ぐために確実に絶縁処理を行なってください。また、ワンタッチコネクターやハーネスなどの接続部分には必ず絶縁テープを巻いてください。

1. 取付け位置を仮決めする

2. ※TE-W06Sのみ
ドア検出コードを車種別専用ハーネス（別売）に取付ける
この位置に取付けます
（コード側から見た図）
（ロックピンを一旦抜いて入れる）

3. 車種別専用ハーネス（別売）を車両に取付ける

4. アースコードを車両に取付ける

5. サイドブレーキ検出コードを車両に取付ける（必要な場合のみ）
※取付けた場合はメインユニット設定スイッチのNo.1をOFFにする

6. イモビ付車対応アダプター（別売）をメインユニットに取付ける（必要な車種のみ）

7. アンテナユニットの設定スイッチを設定し、メインユニットに取付ける
※TE-W06Sは車内温度センサーを併せて取付ける
※必ず確実に固定する

8. 車種別専用ハーネス（別売）の13Pコネクターをメインユニットに差し込む

9へ

9. P/N検出が行えるかどうか確認する（検出できない場合はフットブレーキ検出コードの配線を行ない、メインユニット設定スイッチのNo.2をOFFにする）

10. メインユニットの設定スイッチを設定し、エンジンスターター機能の動作を確認する

11. ドアロック機能の配線を行なう（ドアロック適合車種にドアロック配線を行なう場合のみ）

12. ※TE-W06Sのみ
セキュリティ拡張コードを取付け、強制解除スイッチを貼付ける

13. ※TE-W06Sのみ
8音色サイレンをメインユニットに取付ける

14. ※TE-W06Sのみ
ドア検出コードを車両に接続する

15. ※TE-W06S及びドアロック適合車種のみ
セキュリティ・ドアロックの動作を確認する

完了